



2017・18年度
国際ロータリー第2790地区

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

水

3

2018年
MARCH
VOL.9

伊藤若冲
旭日松鶴図

水と衛生月間



ロータリー：
変化をもたらす



COPY FOR MEMBERS

地区行動指針 理念と実践 ～Think Next～



国際ロータリー第2790地区
2017-18年度ガバナー 寺嶋 哲生 (柏RC)

三大セミナーに向けて

今月から来月にかけて、橋岡ガバナー年度に向けた三大セミナー、即ちチーム研修セミナー・会長エレクト研修セミナー（PETS）・地区研修協議会が開催されます。地区の指導者チームに始まり、次年度クラブ会長から各クラブリーダーチームへと、橋岡ガバナー年度におけるRIテーマと2790地区運営方針が公表され、共有される。いよいよ、橋岡ガバナーと2018-19年度が始動する事となります。

一昨年の今頃、やはり2月に開催された櫻木ガバナー主催による地区大会。その2015-16年度の地区大会が終わった余韻が冷めやらぬ内、青木年度に向けた三大セミナーが開催されました。当時ガバナーノミニーとして傍らで見ていた私には、はっきりと青木年度の胎動が感じられ、流れていた空気がまた一新された実感がありました。新しいガバナーがゆっくりと立ち上がり、来るべき新年度に向けて一步を踏み出す。そんな映像を見る思いでありました。

ガバナーエレクトの活動は、エレクトに就任した7月から始まります。まずは自らご助言を頂く研修リーダーを定めて就任のお願いを申し上げ、次いで前年度までの地区組織図の変遷を勘案しつつ、自らの意志を込めた組織図を作成する。それが、秋頃までの最初の任務となります。

次いで、その組織図に従って地区委員長・委員の人選を行い、然るべき方々に就任のお願いを申し上げると共に、合わせて地区予算を編成する。それが、年末から翌年の年初までの任務となります。

更には、1月にサンディエゴで開催される国際協議会に参加し、ガバナーとなる為のレクチャーを受けつつ、RI会長によるテーマの提示を受けると共に、そのテーマの意図するところを理解する。そして、RI会長テーマを踏まえた上での自らの地区運営方針を決定し公表する。それが、3月初旬までの任務となります。

ガバナーエレクトにとって、どの工程も初めて取り組む課題であって、全てが手探りの作業となります。過去の事例を紐解きながら、自らの意図を盛り込んでいく。自らの考案する運営方針が果たして有意な運営方針と言えるのか、考えては成文化し、文章を読み直しては考えを改める。まさに試行錯誤を繰り返しながらの自問自答を続けます。恐らくは、ガバナーを拝命した者全員が、この様な過程を経験しているものと思います。

さて、橋岡ガバナーはどの様な運営方針を考え、どの様にリーダーシップを発揮されるのか。間もなく公表される橋岡ガバナーのご意向を、楽しみに拝聴させて頂きたいと考えております。



2018年国際協議会参加報告

2017-18年度ガバナーエレクト **橋岡 久太郎** (佐倉中央RC)

世界537地区のガバナーエレクトが出席義務を負う国際協議会の目的は、ロータリーが直面する課題や機会について理解を深め、「越我の奉仕」を実践する心構えをし、ロータリーの知識と最新情報を学び、ガバナー就任に向けた準備をすることです。

2018年1月14日～20日の日程で、北米カリフォルニア州サンディエゴ市内のホテル「マンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴ」にて開催され出席して参りました。

協議会ではRI会長エレクトバリー・ラシンが、

2018-19年度RI会長テーマ

「BE THE INSPIRATION」

「インスピレーションになろう」

を発表し、以下のように演説されました。



『ロータリーは、より良い世界を切望し、世界、地域社会、自分の持続可能な良い変化を生み出すために、手を取り合い行動する事を目指しています。今行っている奉仕が、今よりも明日、そして後世の人々のより良い生活に繋がっていくよう、あらゆる手段を尽くし実現するためにクラブと地区のインスピレーションになろう。何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションを、クラブやほかのロータリアンに与えてください。行動を通じて世界の「インスピレーションになる」のです。』

全体会議は毎日午前と午後に参加者約1400人が一堂に会しました。「ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲滅活動である。」とRI会長エレクトバリー・ラシンは述べられ、

「1985年立ち上げ以来の発症数を99.9%減少させ、いよいよ2018年にゼロを達成します。」と力強く「レガシー・ポリオゼロ」宣言をしました。2017年の発症数21をゼロにするためには、今後少なくとも3年間は4億5000万人の子どもへポリオの予防ワクチンを提供し、監視活動をするために目標の募金を集める必要があります。また、若い世代の参加を呼ぶローターアクトを増やし、会員増強をするために公共イメージを向上させるとともに、クラブと地域社会のつながりを築き、変化への行動力を生み出すためにロータリーデーを実施することをRI会長エレクトバリー・ラシンが示されました。全体会議では、ポリオ、戦略計画、平和、ロータリー財団、会員増強の必要性、公共イメージの向上をはじめ、内容の濃いレクチャーを受けました。同期のガバナーエレクトと少人数に分かれての分科会では、研修リーダー（パストガバナー）の進行により更に議論を深め、「超我の奉仕」からインスピレーションを得て、ロータリーを通じて行動し、人びとにインスピレーションを与える方策を導き出しました。

夜は、RI会長エレクト主催晩餐会、民族衣装での文化交流、カリビアンナイト晩餐会で世界のロータリアンと交流し好意と友情を深めました。国際協議会に参加するにあたり、パストガバナーご夫妻から細かなご助言を頂いたおかげで、現地では朝から晩までロータリーについて考える時間を過ごし、ガバナー年度のインスピレーションの源を見つめる事が出来た1週間でした。出発にあたり壮行会を開催して下さった皆様に改めて感謝申し上げます。



「水と衛生月間」にむけて



「水と公衆衛生」

(国連テクニカルアドバイザー)

グローバルウォーター・ジャパン代表 吉村 和就

1. 安全な水が無いと？

日本は水資源に恵まれており、明治20年(1887年)横浜の近代水道(圧力配管で送られ、殺菌された水)から始まり、今では蛇口をひねれば全国どこでも安全な水を飲むことができる。一方、国連の報告では、全世界で約8億8400万人が安全な水を利用できず、約25億人がトイレなど基本的な衛生設備を利用できないとされている。また毎年約180万人以上の乳幼児が水系伝染病(赤痢、チフス、下痢)などで死亡している。言うまでもなく水は人間が生きていくうえで必要不可欠な資源だ。では安全な水が無いと何が起こったのか、歴史的な背景から見てみよう。

・安全な水で繁栄した古代ローマ帝国

古代ローマ帝国は地中海を支配下において強大な勢力を誇っていた。彼らの支配地域にはすべて巨大な水道橋(標高差で送水)が存在していた。当時のローマ帝国の財務官アッピウスは「ローマ帝国の永続的な発展は道路と水道の社会インフラ整備にあり」として保守的な元老院を説得し積極的なインフラ投資を続けた。

豊富な水はローマ市民の公衆浴場やトイレに供給(上水道)され、その排水は、豊富な水で即座に谷に放水(下水道)されたのであった。市内随所に見られた噴水は、実は水の量と圧力を監視す

るバロメータでもあった。ローマ人・一人一日当たり、なんと約1000リットル以上の水が供給されていた。しかしローマ帝国の領土拡大につれ、水道の技術者集団が各地へ分散し、その結果、水道橋の維持管理ができなくなり、衰退の兆しが見え始める。最後は蛮族の侵入を恐れたベリサリウス将軍が、水道橋の入り口や坑道をレンガとセメントで完全に閉鎖させてしまった。それに連れローマ帝国は滅亡に向かった。豊富な水で繁栄したローマ帝国は、最後は水で滅亡したのである。

・中世ヨーロッパを襲ったペスト…人口が三分の一に激減

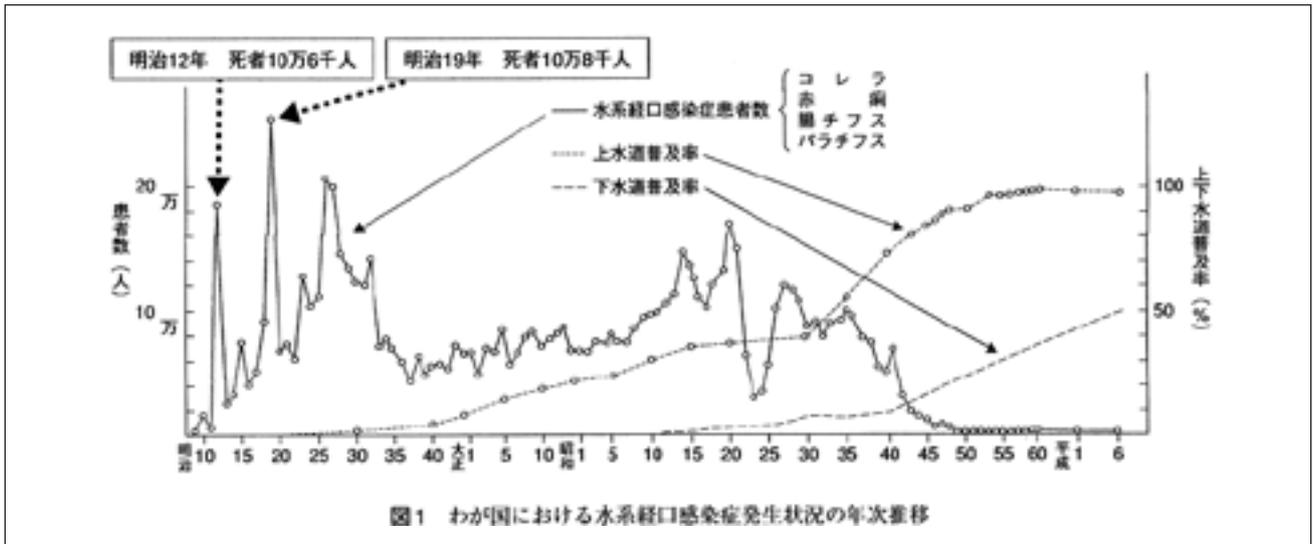
ヨーロッパの人口は順調に増大し1300年には7300万人まで膨れ上がった。しかし1348年にペスト(黒死病)が大流行し、わずか3年間で人口の三分の一が失われた。なぜ疫病が蔓延したのか、その大きな原因は汚水・汚物処理の概念がなかったからである。

例えばパリなどの路上は人や動物の糞尿があふれ、セヌ川には屠殺された牛や豚の臓物や血が途切れることなく流れ込んだ。うっかり道端を歩けば、頭上から容赦なく、おまるに溜まった糞尿がぶちまけられた。町は悪臭に満ち、それは王宮にまで及んだ。あの栄華を極めたヴェルサイユ宮殿にもトイレがなく、糞便し尿で溢れかえっていた。匂い消しの為に香水が発達し、汚物を踏まないために丈の高い靴(ハイヒール、男性用)が考案され普及した歴史でもある。このような衛生状態で、ひとたび疫病が発生すると、あっという間にパリを席卷し、欧州各地に蔓延し、数千万人の命が奪われたのである。

1370年、パリで下水道函渠が初めて完成し、その後370年経ってパリの環状下水道網が完成した。(ビクトル・ユーゴーのレ・ミゼラブルにも登場する)下水道の整備が、その後の疫病の大流行を防いできたのだ。



セゴビア水道橋



2. 日本…水に係る公衆衛生の歴史

日本は昔からし尿を農作物の肥料として用いており、川に流したり、道路に捨てることはなかった。しかし明治時代になると人々が東京などの大都市に集まり、そのくみ取り便所が大雨で溢れたり、汚物・汚水が低地に溜り伝染病が頻発するようになった。明治17年に日本で初めての下水道が東京で作られたが、本格的に下水道が整備されるようになったのは、都市人口が急増した昭和30年以降である。昭和33年(1958年)新下水道法が制定され、下水道が全国的に普及されることになった。水道普及率と下水道普及率の向上と相まって水系経口感染症(コレラ、赤痢、腸チフス、パラチフスなど)患者数が激減した。(図-1参照)

2017年現在、日本の水道普及率は98%、汚水処理人口普及率が90%を突破し、世界に冠たる公衆衛生の良い国になっている。

3. 日本の国際貢献…水と衛生分野で世界最大のドナー国

日本は政府開発援助(ODA)として水と衛生分野における世界最大の貢献(全体の約40%)をしている。具体的な数値でみると2010年から5年間総計で①無償資金協力(贈与)で1788百万ドル、②政府貸付6266百万ドル、③技術協力で802百万ドル、④人的技術協力では海外から研修員受け入れ15,084人、日本から専門家5,319人を派遣している。

4. ロータリアンの国際貢献

国際ロータリー(RI)とアメリカ国際開発庁(USAID)とのプロジェクトで公表されたロータリ

アンの活動報告(2009年)では、1989年から2009年までに、ロータリー財団が水と衛生に関するプロジェクトに関与した件数は4560、同時期に授与した補助金の総額は5920万ドルに達している。さらに2015-16年度ロータリー財団の人的プロジェクト・グローバル補助金では、重点項目の3番目に、水と衛生「安全な飲み水と基本的な衛生設備を提供するための活動と支援」が掲げられ、益々のグローバルな活躍が期待されている。

日本国内においても多くのロータリークラブによる「水と衛生改善」分野での活躍の記事を目にする機会が多いが、国連が定めた2030年までの持続可能な発展(SDGs)の第6項目「安全な水とトイレを世界中に」活動を加速するために、さらなるロータリアンの活躍を期待したい。

筆者紹介

吉村和就(よしむら かずなり)

1948年 秋田県秋田市生まれ、荏原製作所経営企画室部長を経て、国連ニューヨーク本部・環境審議官で途上国の水インフラ指導。2001年NY同時多発テロの後、帰国し2005年グローバルウォータ・ジャパンを設立。現在、国連テクニカルアドバイザー、水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、日本水フォーラム理事、自民党の水戦略特命委員会顧問などを務める。著書に「水ビジネス110兆円 水市場の攻防」(角川書店)、「水に流せない水の話」(角川書店)、「日本人が知らない巨大市場 水ビジネスに挑む」(技術評論社)など多数。またNHKやテレビ東京、ベイFMなどで水問題を判りやすく解説している。

「水と衛生月間」にむけて

モンゴルの子供たちにきれいなトイレを!! モンゴル公衆トイレ設置プロジェクト報告

山本 衛、稲葉 のりひさ (松戸西RC)

松戸西RCでは、モンゴルのバヤンズレブ6地区 (Bayanzurh 6) にある保育所に、水洗式公衆トイレを寄贈した。

松戸西RCは、モンゴルゲル地区の保育所と交流があり、支援と親交を続けてきた。2016年には水と衛生環境の改善のために、保育所の敷地内に井戸と井戸ポンプを設置して、子供たちに清潔な水を使ってもらえる環境を整えた。そんな交流の中で、保育園のトイレの設備が板を渡しただけの非常に簡単なものであることに気づいた。この地域のトイレは、地面に穴を掘り、その上に板を二枚渡しただけのものが多く、穴の深さは2m以上もあり、特に子供たちにとっては危険で非衛生的な環境であることがわかった。

そこで当クラブでは、モンゴルトイレ設置プロジェクトを立ち上げ、子供たちと地域住民にとって必要なトイレの設置を目指した。地域で衛生的な環境は、病気の予防、生活環境の向上が期待できる。また、トイレを長くきれいに使ってもらえるように、メンテナンスの方法を当クラブの会員が説明することも付け加えた。

2017年7月より現地調査および工事に取りかかり、松戸西RCメンバーが設計や建築の指導を行ったモンゴル公衆トイレ設置プロジェクトは、現地での工事の進行方法が日本と違うことによるトラブルや、現地スタッフとの言葉の違いによるコミュニケーションの問題などを乗り越えて、当初の予定通り9月9

日に現地にて完成贈呈式を行い、その模様はモンゴルの国営テレビにも放映された。

日本ではトイレを大切に扱う文化がある。それらが掲載された絵本を現地語に翻訳し、現地の子供たちに寄贈した。それは、トイレに関心をもってもらうためである。贈呈式では、完成したトイレに子供たちが使うためのハンドタオルを日本から持ち込み寄贈した。モンゴルでは、遊牧民族の文化が今も強く残っていて、ゲルと呼ばれる移動式テントでの生活が現在も行われている。トイレに関する考え方は、特に郊外では屋外の離れた場所に設置するのが一般的なものとなっている。

日本におけるトイレを快適で安全で綺麗な場所にするという文化は、今回のプロジェクトでモンゴルの子供たちや地域住民に少し伝えることができた。この公衆トイレ設置プロジェクトにより、地域の衛生環境が向上するきっかけや、水洗トイレの普及等が期待される。

余談となるが、このプロジェクトにおいて、現地で色々協力をしていただいたモンゴル国タミルロータリークラブが、当クラブの国際奉仕活動に感謝の意と今後両クラブの交流活動を活発にしていきたいとの申し入れがあり、2017年11月17日タミルロータリークラブの代表団が来日。ロイヤルガーデンパレス柏日本閣において、友好クラブ締結式を行い、今後更なる両クラブの交流を進めていくことになった。



寄贈トイレ



手洗い場



寄贈トイレ全体



贈呈式の様子



モンゴルタミルロータリークラブとの合同写真



モンゴルの子供たちと寄贈した絵本



友好クラブ調印式



友好クラブ調印式

撮影場所 モンゴル ウランバートル NPO法人「明日の発展」
青少年研修センター
住 所 Mongolia, Ulaanbaatar City, Sukhbaatar District, 20th
Khoroo, Gunjiin-Am 1
撮影年月日 平成29年9月9日 午後1時ごろ

文庫通信 (365号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

資料より

- ◎「純粋親睦」佐古亮尊 大村北R.C. 2011 2p (回首原点-ロータリーの心を尋ねて (その7))
- ◎「ロータリーは思想である」佐古亮尊 大村北R.C. 2016 6p (回首原点-ロータリーの心を尋ねて (その8))
- ◎「なぜ私たちは他人に親切にするのであろうか」富田英壽 2017 2p (ロータリーの心をたずねて)
- ◎「基本に返って、魅力あるロータリーに」富田英壽 2017 5p (ロータリーの心をたずねて)
- ◎「ロータリーはどこへ? -ロータリーの目的と自分の人生の目的のベクトルを合わせる生き方」刀根莊兵衛 2017 3p (夢を語り、現在 (いま) を刷新)
- ◎「ロータリーとは?」鈴木一作 2018 4p (D.2800月信)
- ◎「ロータリーと持続可能性」吉田雅俊 2017 1p (D.2580月信)
- ◎「柔軟性導入は会員増のソリューションなのか?」小船井修一 2018 9p (D.2840月信)
- ◎「五つのテスト?」玉井清治 2017 1p (D.2510月信)

[上記申込先: ロータリー文庫]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館: 午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま215号)

今月のトピックス

- ・財団設立50周年記念式典開催速報
- ・50周年を祝って -海外学友会からの贈り物-
- ・寄付金速報 -下期も順調なスタート-

《今月のピックアップ記事》 財団設立50周年記念式典開催速報

2月4日、当会財団法人設立50周年式典がランドニコ東京台にて開催され、日本全国、また世界各国から約700人にご参加いただきました。なお当日は、たくさんのロータリアン、学友・奨学生がボランティアとして協力してくれました。この場をお借りして御礼申し上げます。

◆フォーラム◆

50周年記念委員会の塙東男委員長の宣言により、第1部フォーラムがスタート。財団を代表し、小沢一彦理事長より本式典にご参加いただいた方々へ感謝の言葉が述べられました。

続いて2016-18年度国際ロータリー理事・斎藤直美氏および東京RC会長・森田富治郎氏から祝辞をいただいたあと、フォーラム「世界に平和の種をまく~米山記念奨学事業、未来への提言~」が始まりました。

ファシリテーターは高野孫左衛門氏、学友を代表して陳思乾さん、全炳台さん、林小微さん、ジャンチブ・ガルバドラッハさん、于咏さんの5人がパネリストとして登壇し、「奉仕・成長」「恩返し・懸け橋」「行動・ネットワーク」などを主題に、各自が熱い思いを述べました。(後略)

◆祝賀会◆

第2部祝賀会は、二胡奏者として活躍する学友の姜曉艶さんの華麗な演奏で始まり、奨学生・学友たちがロータリアンの入場を手拍子で出迎えました。50周年記念委員の相澤光春氏と学友のジョルダヤコヴァ・サウレさんの息のあった進行のもと、駐日ミャンマー大使をはじめ、各国大使館・地域代表機関などからの来賓が紹介されました。

続く記念講話には神奈川県立保健福祉大学名誉学長の阿部志郎氏が登壇。御年92歳の阿部氏は、幼少時、近所に住む米山梅吉・春子夫妻とよく顔を合わせたそうです。(後略)

〈お知らせ〉 ☆海外米山学友会総会のご案内

《マレーシア》

2018年3月4日(日) 16:00~

会場: マレーシア学友会事務所

(51B-1-01 Jalan Sungai Dua, 11700 Gelugor, Penang)

申込: yoneyama.malaysia@gmail.com

《タイ》

2018年3月17日(土) 15:30~受付開始

会場: KU HOME (バンコク市内)

申込: thaiyoneyama@gmail.com ワシン (タイ米山学友会幹事)

※記事全文およびそのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight215_pdf.pdf

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



梶原 優
(船橋西RC)
9回目



平野 弘和
(木更津RC)
8回目



鈴木 健吾
(柏西RC)
8回目



上代 修二
(八千代RC)
8回目



畝本 一実
(市川東RC)
6回目



堀内 正一
(木更津RC)
6回目



塚本 英夫
(柏西RC)
6回目



飯沼 俊雄
(市川東RC)
4回目



小林 康郎
(市川東RC)
4回目

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



森井 康夫
(市川東RC)
4回目



田中 保雄
(市川東RC)
4回目



常井 典夫
(柏RC)
4回目



廣田 利夫
(市川東RC)
3回目



内田 良男
(市川東RC)
3回目



伊藤 雄康
(市川東RC)
3回目



相川 泰久
(船橋みなどRC)
3回目



勝田 秀一
(柏RC)
3回目



橋本 幹雄
(八千代RC)
3回目



安藤 徹
(船橋西RC)
2回目



重城 明男
(木更津RC)
2回目



小林 覺道
(館山RC)
2回目



安藤 轟勇
(茂原RC)
2回目



萩原 宏次
(柏RC)
2回目



眞嶋 良司
(松戸東RC)
2回目



伊藤 公一
(柏RC)
1回目



藤川 崇
(柏RC)
1回目



山田 達郎
(松戸RC)
1回目

新ポール・ハリス・フェロー



常盤 映彦
(松戸RC)
1回目



鳥村 俊充
(松戸RC)
1回目



時下 俊一
(君津RC)



早見 秀一
(君津RC)



藤川 崇
(柏RC)



杉浦 章浩
(松戸RC)



太田原慎一
(松戸RC)



松本 幸夫
(松戸RC)



下田由起男
(松戸RC)

ベネファクター



森島 庸吉
(船橋西RC)

ポリオ・プラス



稲垣 典子
(柏RC)

米山功労者



上代 修二
(八千代RC)
8回目



植草 和典
(千葉幕張RC)
2回目



木村 孝夫
(船橋みなどRC)
1回目



国分 裕二
(船橋みなどRC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



川崎 浩二
(四街道RC)
地方銀行
7月4日入会



長谷川裕一
(鴨川RC)
電気事業
12月5日入会



斎藤 英之
(鴨川RC)
米穀販売
12月5日入会



大原 哲也
(松戸RC)
社会保険労務士
12月20日入会



前田 隆司
(我孫子RC)
自動車修理・整備
1月9日入会



柳田 実
(我孫子RC)
自動車売買
1月9日入会



平川 啓次
(印西RC)
建築資材販売
1月10日入会



玉木 実
(印西RC)
園芸
1月10日入会



遠藤 忠義
(成田コスモポリタンRC)
宿泊・飲食業経営コンサルタント
1月10日入会



矢野 憲治
(千葉中央RC)
建設業
1月11日入会



萩原 利彦
(千葉中央RC)
飲食業
1月11日入会



小山 敏雄
(大原RC)
葬祭業
1月11日入会



池田 建
(八千代RC)
金属製品製造業
1月12日入会



鈴木 孝雄
(袖ヶ浦RC)
配管工事
1月15日入会



宮本 栄治
(袖ヶ浦RC)
流体機械製作
1月15日入会



加藤 亮二
(印西RC)
ウェブデザイン
1月17日入会



岩瀬 朋彦
(松戸RC)
建設業
1月17日入会



中嶋 敏彰
(木更津RC)
商業銀行
1月18日入会



石川 智也
(流山RC)
行政書士
1月18日入会



泉 英伸
(銚子RC)
弁護士
1月24日入会

訂正・お詫び

月信2月号の鴨川RC新ロータリアン2名様の報告に誤りがありましたので、訂正して再掲載いたします。

国際ロータリー第2790地区(千葉) 出席・会員数報告(2018年1月分)

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	90.00	2	40	1	38	1	△2
	市川東	100.00	3	43	3	44	3	1
	市川南	83.07	3	19	2	20	2	1
	浦安	90.00	3	43	2	45	2	2
	市川シビック	78.73	3	32	0	34	0	2
	浦安ベイ	69.70	3	13	0	15	0	2
	平均	85.25	2.83	31.67	1.33	32.67	1.33	6
第2分区	船橋西	89.41	4	29	0	31	0	2
	船橋西	87.86	4	42	7	43	7	1
	鎌ヶ谷	77.78	2	34	2	32	2	△2
	船橋東	88.81	3	32	3	31	3	△1
	船橋南	85.19	4	13	1	14	1	1
	船橋みなと	95.69	3	20	4	20	4	0
平均	87.46	3.33	28.33	2.83	28.50	2.83	1	
第3分区A	千葉葉	85.37	3	80	3	89	5	9
	新千葉	77.86	3	51	0	53	0	2
	千葉西	80.70	4	45	3	52	4	7
	千葉中央	72.36	3	32	0	35	0	3
	千葉幕張	70.39	4	35	2	38	3	3
	千葉東	75.31	4	34	6	30	3	△4
	千葉若潮	72.58	2	31	1	34	1	3
平均	76.37	3.29	44.00	2.14	47.29	2.29	23	
第3分区B	千葉南	81.46	3	47	7	46	6	△1
	市原	62.92	2	40	3	44	3	4
	千葉港	71.21	3	24	3	24	3	0
	市原中央	78.92	4	50	1	50	1	0
	千葉北	88.89	4	29	3	27	3	△2
	千葉緑	100.00	2	26	1	25	1	△1
平均	80.57	3.00	36.00	3.00	36.00	2.83	0	
第4分区	木更津	72.17	3	27	2	30	4	3
	上総	60.41	3	15	0	16	0	1
	富津中央	68.48	3	29	1	34	1	5
	木更津東	74.93	4	46	1	50	3	4
	君津	95.08	3	54	4	59	4	5
	袖ヶ浦	86.67	3	25	4	26	4	1
	富津シティ	64.60	4	16	0	15	0	△1
平均	74.62	3.29	30.29	1.71	32.86	2.29	18	
第5分区	館山	86.48	3	49	3	48	3	△1
	鴨川	82.29	3	31	4	35	5	4
	勝浦	92.70	4	36	4	38	4	2
	千倉	66.67	3	6	2	5	2	△1
	鋸南	100.00	2	13	1	14	1	1
	館山ベイ	78.79	3	23	0	22	0	△1
平均	84.49	3.00	26.33	2.33	27.00	2.50	4	
第6分区	茂原	91.53	3	62	0	63	0	1
	東金	91.11	3	14	1	15	1	1
	大原	96.30	3	9	1	10	1	1
	大多喜	75.00	4	6	1	7	1	1
	成田空港南	74.84	3	35	0	33	0	△2
	茂原東	75.32	4	21	1	21	1	0
	茂原中央	79.26	4	21	2	21	2	0
	大網	75.00	4	31	1	31	1	0
	東金ビュー	75.00	2	20	1	20	1	0
平均	81.48	3.33	24.33	0.89	24.56	0.89	2	

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2017 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	84.28	4	39	4	41	4	2
	旭	66.85	4	43	3	45	4	2
	八日市場	63.32	4	38	2	38	2	0
	銚子東	78.00	4	32	2	31	2	△1
	平均	73.11	4.00	38.00	2.75	38.75	3.00	3
第8分区	佐原	84.44	3	49	0	49	0	0
	多古	78.57	2	15	0	17	0	2
	小見川	86.95	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	90.90	2	25	1	25	1	0
平均	85.22	2.75	28.00	0.25	28.50	0.25	2	
第9分区	成田	72.61	3	69	4	72	5	3
	八街	79.50	3	30	3	31	3	1
	印西	81.70	4	20	1	21	1	1
	白井	57.14	2	15	0	14	0	△1
	富里	82.18	3	30	0	30	0	0
	成田コスモポリタン	66.53	4	69	0	70	0	1
	平均	73.28	3.17	38.83	1.33	39.67	1.50	5
第10分区	柏	76.20	4	62	9	61	9	△1
	我孫子	72.83	4	26	3	27	2	1
	柏西	89.55	4	62	3	67	3	5
	柏東	78.00	3	35	6	39	7	4
	柏南	61.60	3	33	5	40	6	7
	平均	75.64	3.60	43.60	5.20	46.80	5.40	16
第11分区	習志野	78.38	4	26	2	25	2	△1
	八千代	88.66	3	51	0	52	0	1
	倉	62.93	4	28	3	29	3	1
	八千代中央	79.90	3	22	1	23	1	1
	四街道	79.80	4	27	3	26	3	△1
	習志野中央	80.17	3	48	5	50	4	2
	佐倉中央	63.63	3	21	5	23	6	2
平均	76.21	3.43	31.86	2.71	32.57	2.71	5	
第12分区	松戸	89.47	4	55	0	58	0	3
	松戸東	90.98	3	46	0	47	0	1
	松戸北	77.24	4	39	0	40	0	1
	松戸中央	77.25	3	44	6	43	6	△1
	松戸西	83.33	3	29	0	28	0	△1
	平均	83.65	3.40	42.60	1.20	43.20	1.20	3
第13分区	野田	74.31	3	54	7	56	7	2
	流山	78.33	2	14	4	15	4	1
	野田東	79.36	3	22	0	22	0	0
	流山中央	80.80	3	22	2	22	2	0
	野田セントラル	86.17	3	25	1	25	1	0
平均	79.79	2.80	27.40	2.80	28.00	2.80	3	

クラブ数83RC		
2017年7月1日	地区会員数	2,761人
2018年1月末日	地区会員数	2,852人
2017年7月1日	地区女性会員数	177人
2018年1月末日	地区女性会員数	185人
当月平均出席率		80.36%
増減		+91
女性会員増減		+8

3月のロータリーレート
108円

物故会員 (敬称略)



黒川 治雄 (第4分区 富津中央RC)
 逝去日: 2018年1月19日 (享年78歳)
 入会日: 2016年7月7日

地区大会記念ゴルフ大会報告

2017年12月4日(月) 藤ヶ谷カントリークラブ

地区大会記念ゴルフ大会実行委員会
委員長 中山 浩一 (柏RC)

台風21号の影響で順延を余儀なくされた地区大会記念ゴルフ大会は、快晴の12月4日(月)に117名の地区内ロータリアンが集い開催されました。

今回は一般の部、シニアの部(75歳以上)、レディース、クラブ対抗のコンペ形式とし、多くの方が商品をお持ち帰りされました。また、ショートホールで実施いたしましたチャリティーホールでは、皆様にご寄付を、『ロータリー希望の風奨学会』に総額108,000円寄贈いたしました。

ご参加いただきましたロータリアンの皆様、早朝から大会運営のお手伝いをいただきました地区幹事団、各ロータリアンの皆様には心より御礼申し上げます。

国際ロータリー第2790地区 地区大会記念ゴルフ大会

	一般の部	グロス/ネット
優勝	中野 陽介 (船橋みなど)	83/68.6
準優勝	柴田 一弘 (柏東)	84/72.0
3位	三橋 好文 (習志野中央)	78/72.0

	シニアの部 (75歳以上)	グロス/ネット
優勝	中原 光男 (松戸北)	82/73.6

	女子の部	グロス/ネット
優勝	亀田 美穂 (鴨川)	106/80.8

	団体戦	選手	グロス/ネット
優勝	習志野中央	小笠原 大介 三橋 好文 中島 広明	155

団体戦は出場3名のうち上位2名のスコア合計

	ベスグロ	グロス
優勝	小笠原 大介 (習志野中央)	77

NEAR-PIN CONTEST

アウト2番	橋本 直樹 (船橋)
アウト6番	中野 陽介 (船橋みなど)
イン13番	宮内 龍雄 (銚子)
イン15番	大澤 茂 (鎌ヶ谷)



優勝～3位 記念撮影



寺嶋ガバナー挨拶

米山記念奨学会だより

米山記念奨学生・カウンセラー新年会の報告

2017-18年度 米山記念奨学委員会 委員長 富 一美



2018年1月14日(日曜日)に千葉スカイウィンドウズ 東天紅(センシティタワー 23階)に於いて、2017学年度米山記念奨学生及びカウンセラー新年会を開催致しました。

寺嶋ガバナー、諸岡ガバナーノミニ、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会2790地区PD増田理事、PG得居評議員他、神野地区幹事長、各世話クラブカウンセラー、2790地区米山学友会シュレスタ・ラジブ会長をはじめとする理事の皆様など、大勢の皆様をご来賓にお迎えし、総勢64名で開催することが出来ました。

冒頭にご来賓の皆様にご挨拶をいただいた後、私の方から挨拶並びに現在までを振り返りまして、行事報告をさせていただきました。

その後、柏RCカウンセラーの大本國平様の乾杯のご発声から始まり、皆様ご歓談をしながら、奨学生・カウンセラー双方から、毎月の世話クラブへの例会訪問及び、様々なロータリー行事や奉仕活動など、ロータリアンとの交流を通じ、多くの学びを得たことを体験談や感想を交えてご披露していただきました。

毎年の事ではありますが、この時期になりますと奨学生もカウンセラーも親しさが深まり、本当の親子のような関係を思わせるお話も聞けて、感極まるものがございました。

今回は、余興として柏南RCが世話クラブの現役奨学生ホウ・シュウシュウさんが母国のモンゴルダンスを披露してくれました。ダンサーを目指していた時期もあったそうで、そのプロ級のダンスに会場の皆さんも魅了されておりました。

最後は、ロータリーソング「手に手つないで」の合唱で締め括り、新年会を無事終了することが出来ました。ご出席をいただいた皆様方に感謝を申し上げます。



伊藤若冲 旭日松鶴図
伊藤若冲(いとう・じゃくちゅう) 生没年…正徳六年(寛政十二年 西暦一七六六年)一八〇〇年)は、京都・錦小路にあった青物問屋に生まれ、齢四十歳となった宝暦五年に家督を弟に譲って作画に専念した。写実と想像を巧みに融合させた画風から、曾我蕭白・長澤蘆雪らと並び奇想の画家と称される。代表作の「動植綵絵」三〇幅(所蔵・宮内庁三の丸尚蔵館)は、多種多様な動植物が様々な色彩と形態のアラベスクを織り成す。

周年記念おめでとうございます

千葉北RC
創立20周年記念例会
日時：1月24日

船橋みなとRC
創立25周年記念式典
日時：3月10日

茂原中央RC
創立25周年記念式典
日時：3月17日